

本年度1回目の土曜授業

今年は長い臨時休業によって多くの授業が失われました。皆さんの学習の機会を保障するとともに学習内容の遅れを取り戻すには、7時限授業(45分×7)の日や土曜授業(例年は年間3回の実施)の回数を増やしていかなければなりません。皆さんに過度の負担にならないように様子をみながら日程調整をしていきたいと考えています。



(体育館での体育の授業)

また、大阪市教育委員会からの通知で長期休業期間の変更もあります。夏休みが8月8日(土)～8月24日(月)、冬休みが12月26日(土)～1月6日(水)に短縮されました。各学期の始業式と終業式にも給食が提供されますので、給食を食べた後に終業式や学活等を行って下校することになります。(詳細についてはその都度お知らせします。)

本日はその第1回目としての土曜授業ですが、新型コロナ対策として参観なしの授業とさせていただきました。本来は保護者の方々に来校していただき、学校の様子も観ていただくところですが、今後できる限りそのような機会も設定していきますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。



(体育館の屋上に避難)

避難訓練も実施しました。

本日の3限目は避難訓練を行いました。地震が起きた後に津波が来るという設定で、まずは運動場に避難し、その後に最上階へ避難しました。特に1年生は初めてなので、まずは避難経路をしっかりと確認することができたと思います。4月から1度も全校で集まることがなかったので、今日が初めての全員集合でしたが、テキパキと動き、ルールを守って訓練できました。

校長講評よい

災害避難にあたっては「自助」「共助」「公助」という言葉があります。「自助」とは、自分自身や家族の命と財産を守るために、自分で防災に取り組むこと。「共助」とは、近所や地域の方々と助け合うということ。「公助」とは、市役所、消防、警察、自衛隊などによる公的な支援のことです。

いざという時には、自分の生命は自分で守るしかありません。しかし、だからこそ周りの状況をよく理解し、周りの人と協力し合うことが大切です。人間は周囲の人々との関りによって人間らしい生活を営んでいるのです(遠くにいる人々とも何某かの関係があります)。ですから、周りに関わるからこそ、自分の生命を守ることになります。お家の人ともよく打合せをして、いざという時に対応していかなければなりません。